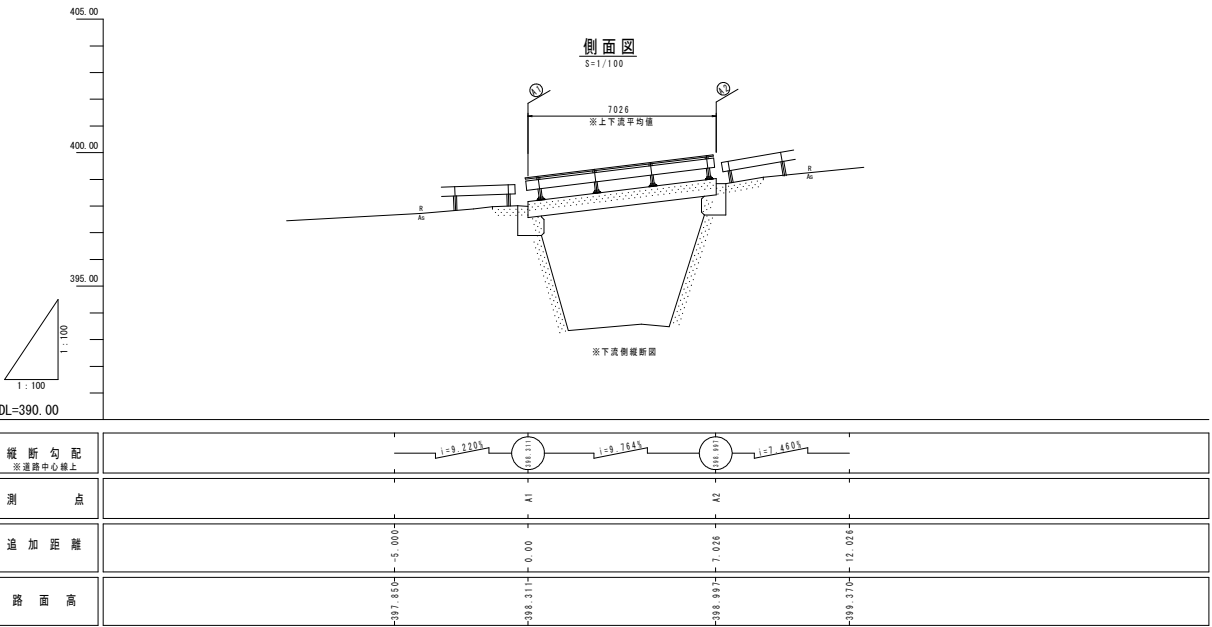
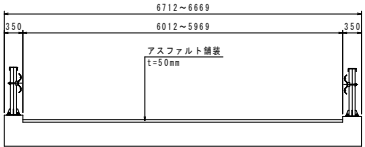


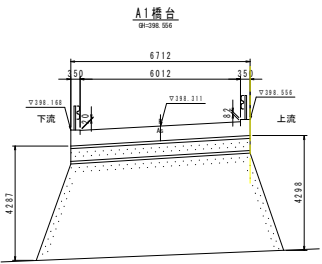
倉羅橋 現況橋梁復元図



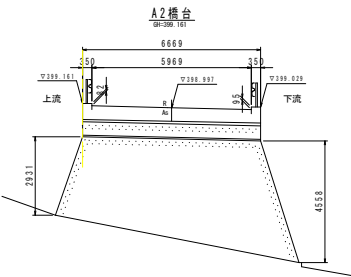
上部工断面図
S=1/50



下部工断面図
S=1/100



DL=390.000



DL=390.000

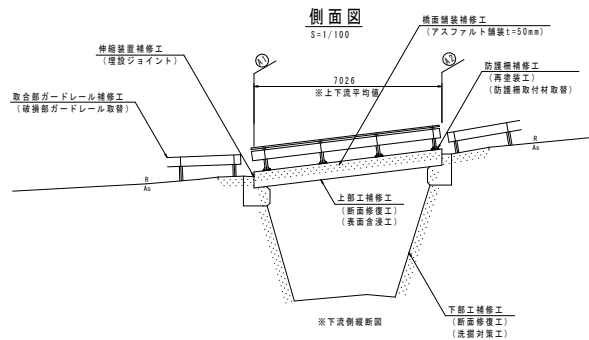
既設橋梁諸元

橋梁名	倉羅橋
架橋年度	1973年（昭和48年）※橋梁台帳より
路線名	一般国道193号
交通物件	倉羅谷川（管理者：吉野川市）
道路規格	第3種第4級相当
道路幅員	地盤0.350+有効幅員6.000+地盤0.350=6.700m ※実測値：地盤0.350+有効幅員6.012+地盤0.350=6.712～6.669m
設計荷重	TL-20 ※橋梁点検報告書より
橋梁等級	一等橋 ※架橋年度からの推定
橋長	7.026m（実測値） ※橋梁点検報告書7.000m
形式	単純RC床版橋
上部工	重力式橋台 ※橋梁点検報告書より
下部工	直接基礎 ※橋梁点検報告書より
基礎	コンクリート 鉄筋 当初σ _{ck} =不明 ※S31コンクリート標準示方書に規定なし σ _{ck} =59.2N/mm ² ※現地試験より推定 初期S49orSS50 ※S31コンクリート標準示方書より 推定（σ _{sa} =140N/mm ² ）
使用材料	コンクリート 鉄筋 当初σ _{ck} =不明 ※S31コンクリート標準示方書に規定なし σ _{ck} =34.9N/mm ² ※現地試験より推定 初期S49orSS50 ※S31コンクリート標準示方書より 推定（σ _{sa} =140N/mm ² ）
適用基準書	鋼道橋設計示方書（1956年（昭和31年））※橋梁点検報告書より （鉄筋）コンクリート標準示方書（1954年（昭和29年））

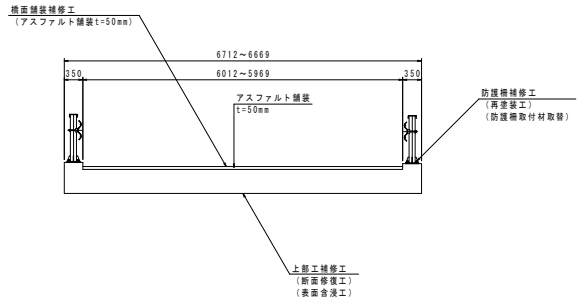
当初設計図面

工事名	R8百土 国道193号（倉羅橋） 吉・美郡倉羅 橋梁修繕工事
路線名等	一般国道193号（倉羅橋）
工事箇所	吉野川市美郷字倉羅
図面名	倉羅橋 現況橋梁復元図
縮尺	図示 図面番号 1 / 6
会社名	
事業者名	徳島県吉野川県土整備事務所

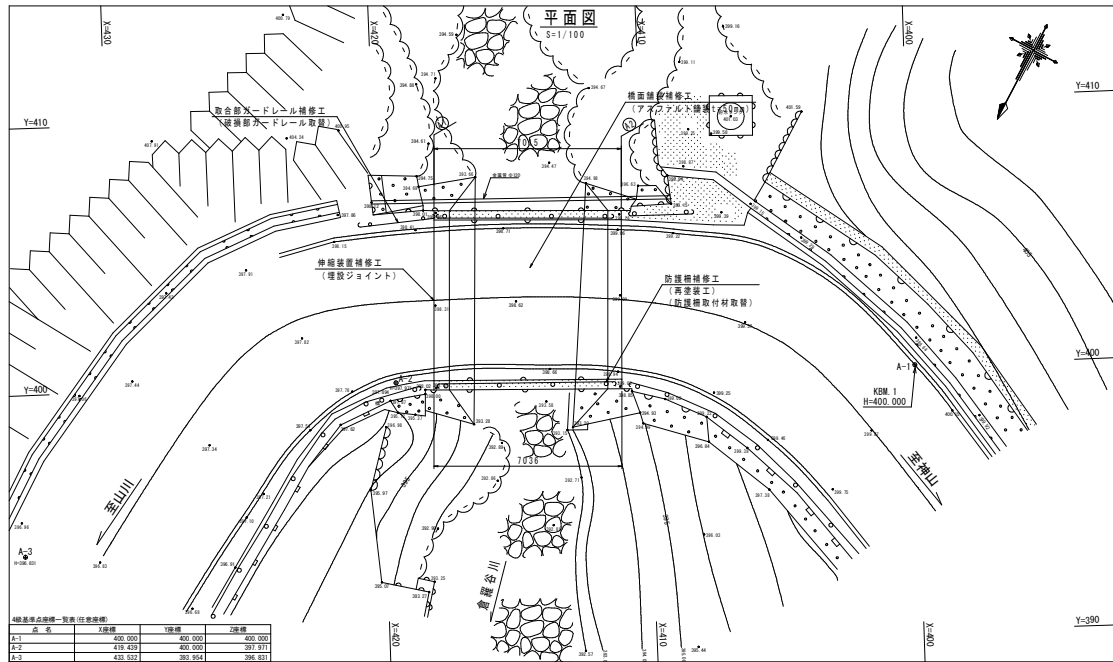
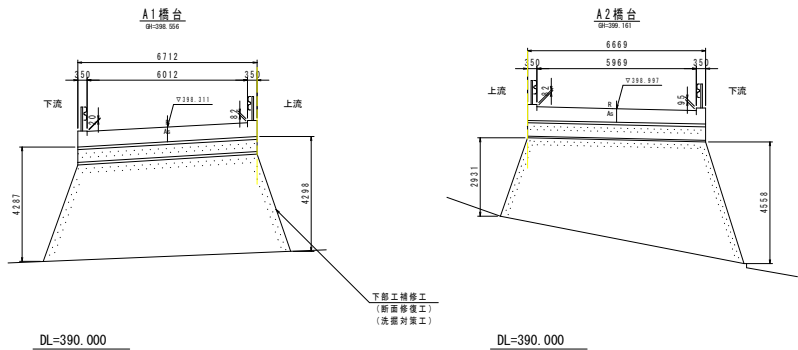
補修計画一般図



上部工断面図
S=1/50



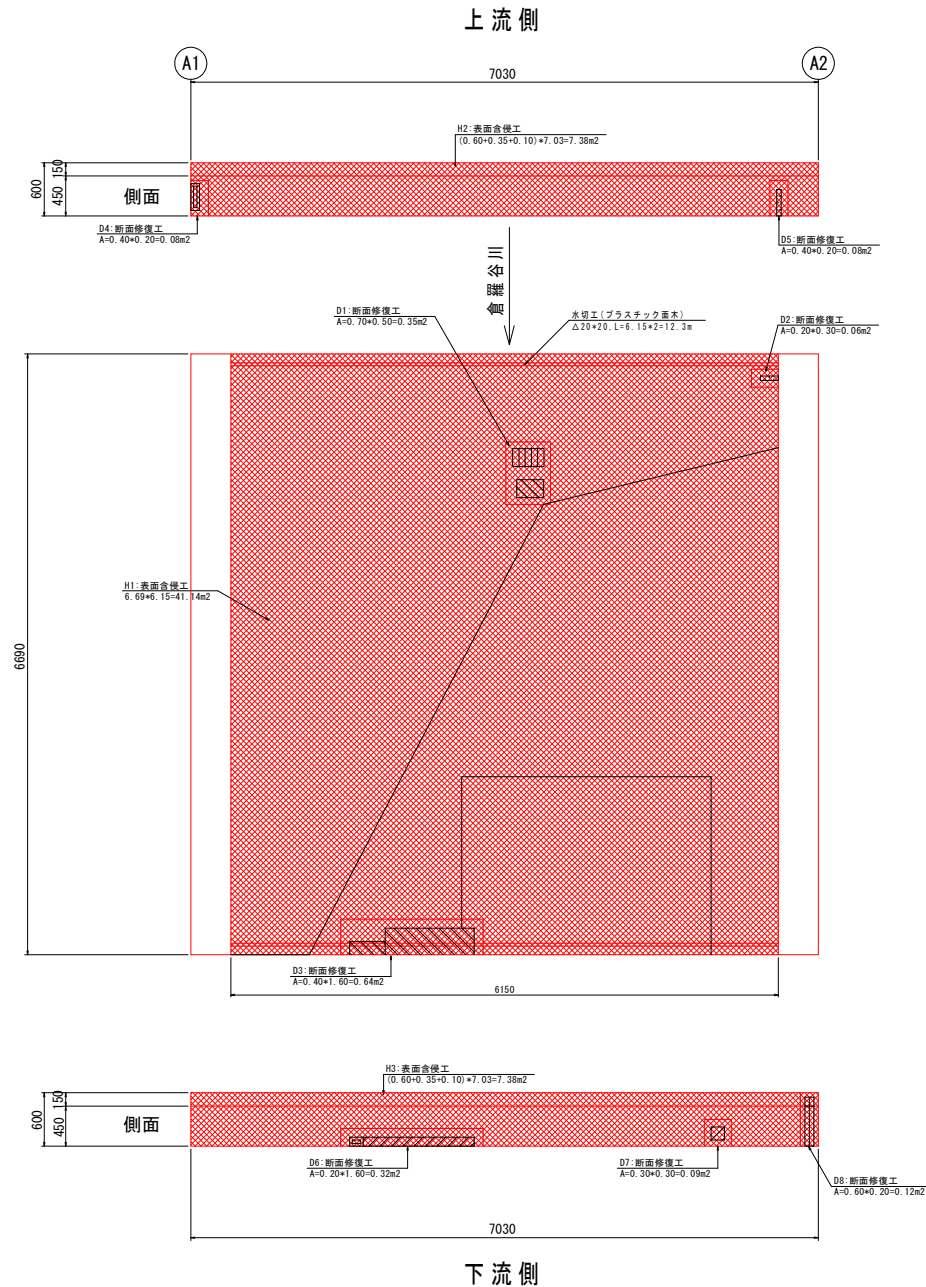
下部工断面図
S=1/100



上部工補修計画図

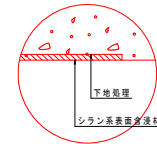
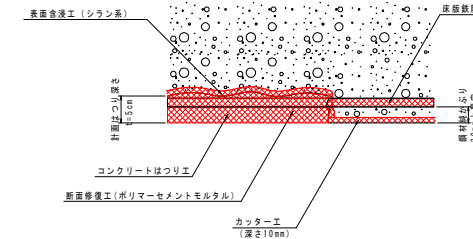
S=1:30

上方からの鳥瞰平面図



断面修復工詳細図 S=1:5

表面含浸工詳細図 S=1:5



- ＜施工手順＞
1. カッター工
深さ10mm程度の切込みを入れる。
 2. はつりエ
はつり作業は健全なコンクリートへの影響を避けるため、ピックハンマー等により確認し作業を行い、作業後には周辺部に浮きが生じていないことを確認する。
はつり範囲は原則として「計画図」に示す範囲とするが、劣化部が確認された場合は、状況に応じて範囲を広げること。
 3. 鉄筋露出工
鉄筋のケレン作業を行う。
 4. 鉄筋防錆処理工
露出した鉄筋に防錆材を塗布する。
 5. 表面含浸工
シラン系表面含浸材にて表面含浸処理を行う。
※使用材料は監督員に確認の上決定すること。
※塗布面の状況に応じて、施工方法、塗布回数、施工間隔等を設定すること。
※塗布面を十分に清掃し、使用製品に応じた含浸処理を行うこと。
 6. 断面修復工
ポリマーセメントモルタル(乾式乾付工法)にて断面修復を行う。
※使用材料は監督員に確認の上決定すること。
※1層あたりの施工厚さはモルタルの付着性、材料特性を考慮して設定すること。
※鉄筋の背面に空層を挟まないよう注意すること。

補修数量表-1 (カッター工)

補修箇所	施工延長
D1: 0.70×0.50×2	2.40m
D2: 0.20×0.30×2	0.80m
D3: 0.40×1.60	2.40m
D4: 0.40×0.20	0.80m
D5: 0.40×0.20	1.00m
D6: 0.20×1.60	2.00m
D7: 0.30×3	0.90m
D8	0.60m
カッター工延長 合計 L= 10.70m	

※カッター工の施工深さは、t=10mmとする。

補修数量表-2 (断面修復工)

補修箇所	補修断面形状	補修断面積
D1	0.70×0.50	0.35m ²
D2	0.20×0.30	0.06m ²
D3	0.40×1.60	0.64m ²
D4	0.40×0.20	0.08m ²
D5	0.40×0.20	0.08m ²
D6	0.20×1.60	0.32m ²
D7	0.30×0.30	0.09m ²
D8	0.60×0.20	0.12m ²
断面修復工断面積 合計 A= 1.74m ²		

※断面修復の補修厚さは、t=50mmとする。

補修数量表-3 (表面含浸工)

補修箇所	補修断面積
H1	6.69×6.15
H2	(0.60×0.35×0.10)×7.03
H3	(0.60×0.35×0.10)×7.03
表面含浸工面積 合計 A= 55.90m ²	

当初設計図面

工事名	R8 吉土 国道193号 (倉庫橋) 吉・美郷倉庫 橋梁補修工事		
路線名等	一般国道193号 (倉庫橋)		
工事箇所	吉野川市美郷字倉庫		
図面名	上部工補修計画図		
縮尺	図示	図面番号	3 / 6
会社名			
事業名	徳島県吉野川県土整備事務所		

下部工補修計画図(1)

S=1:30

A1橋台
(右岸側)

6750

上流側

900

100 450 350

450

100

500

100

700

4800

3650

下流側

900

350 450 100

450

700

100

500

100

4750

3600

1:0.3

D1: 断面修復工

A=2.00*0.10=0.20m2

D2: 断面修復工

A=0.90*7.10=6.40m2

D3: 断面修復工

A=2.00*0.20=0.40m2

D4: 断面修復工

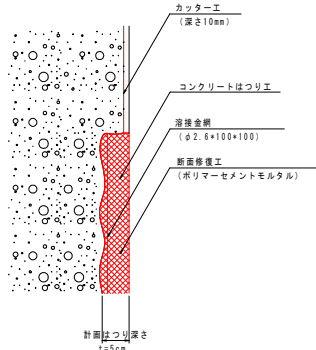
A=0.80*0.20=0.16m2

土壌

(2*12+2)*3段=48段

断面修復工詳細図

S=1:5



- <施工手順>
1. カッター工
深さ10mm程度の切込みを入れる。
 2. はつり工
はつり作業は健全なコンクリートへの影響を避けるため、ピックハンマー等により慎重に作業を行い、作業後には周辺部に浮きが生じていないことを確認する。
はつり範囲は原則として「計画図」に示す範囲とするが、劣化部が確認された場合は、状況に応じて範囲を広げること。
※設計数量の算出は5cmとしている。
 3. プライマー工 (断面修復工)
表面 (はつり面) を十分に乾燥させたうえでプライマーを塗布し、接着面の付着性を確保すること。
 4. 断面修復工
ポリマーセメントモルタルにて断面修復を行う。
※使用材料は監督員に確認の上決定すること。
※一層あたりの施工厚さはモルタルの付着性、材料特性等を考慮して決定すること。
※ハツリ後に既設鉄筋が存在して腐蝕が確認された場合には、既設鉄筋をケレンして防錆材を塗布すること。

補修数量表-1 (カッター工)

補修箇所	施工延長
D1: 2.0*0.1*2	2.20m
D2: 0.9*7.1*2	15.10m
D3: 2.0*0.2*2	2.40m
D4: 0.8*0.2*2	1.20m
カッター工延長 合計	L=20.90m

※カッター工の施工深さは、t=10mmとする。

補修数量表-2 (断面修復工)

補修箇所	補修断面形状	補修断面積
D1	2.00*0.10	0.20m2
D2	0.90*7.10	6.40m2
D3	2.00*0.20	0.40m2
D4	0.80*0.20	0.16m2
断面修復工断面積 合計	A=7.16m2	

※断面修復の補修厚さは、t=50mmとする。

補修数量表-3 (断面修復用プライマー工)

補修箇所	補修断面積
表面(補修数量表-2より)	7.16m2
側面(補修数量表-1より) 20.90m*0.05m	1.05m2
断面修復用プライマー工面積 合計	A=8.21m2

当初設計図面

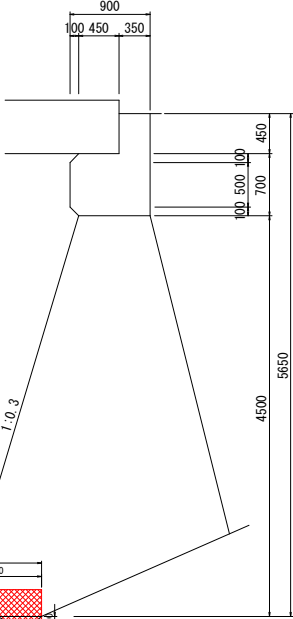
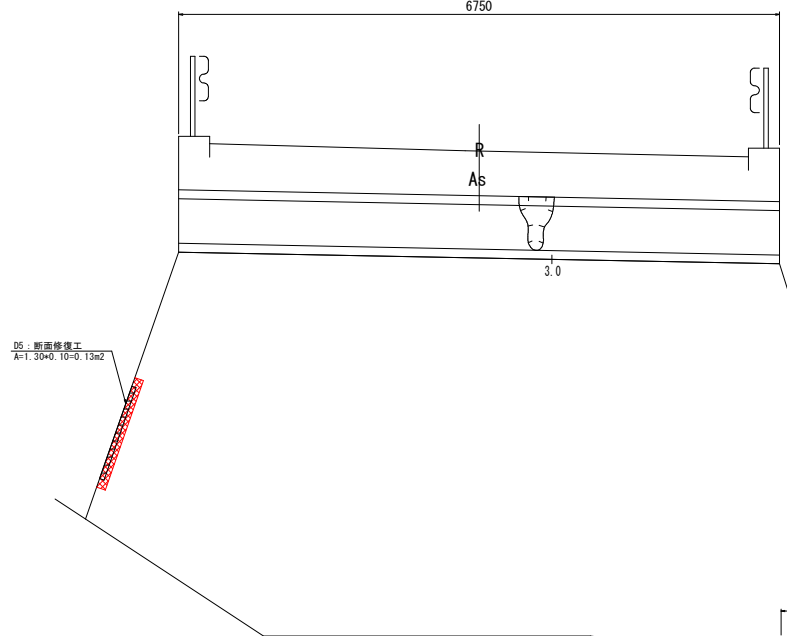
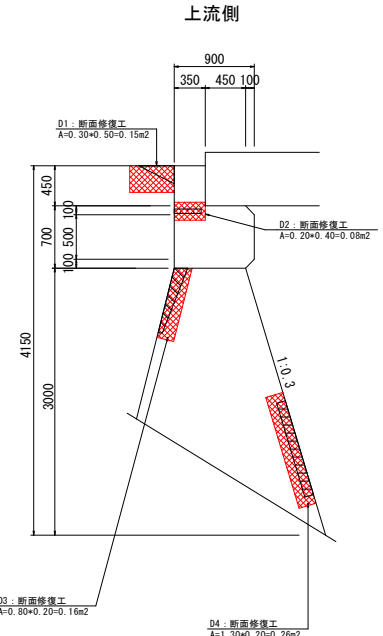
工事名	R8市土 国道193号 (倉庫橋)		
路線名等	西・美郷倉庫 橋梁補修工事		
工事箇所	吉野川市美郷字倉庫		
図面名	下部工補修計画図(1)		
縮尺	図示	図面番号	4 / 6
会社名			
事業名	徳島県吉野川県土整備事務所		

下部工補修計画図(2)

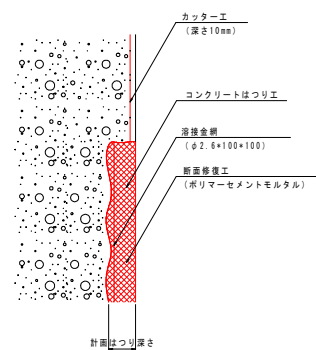
S=1:30

A2橋台
(左岸側)

下流側



断面修復工詳細図 S=1:5



- <施工手順>
1. カッター工
深さ10mm程度の切込みを入れる。
 2. はつり工
はつり作業は健全なコンクリートへの影響を避けるため、ピックハンマー等により慎重に作業を行い、作業後には周辺部に浮きが生じていないことを確認する。
はつり範囲は原則として「計画図」に示す範囲とするが、変化部が確認された場合は、状況に応じて範囲を広げる。
※設計数量の算出は5cmとしている。
 3. プライマー工 (断面修復工)
表面 (はつり面) を十分に乾燥させたうえでプライマーを塗布し、接着面の付着性を確保すること。
 4. 断面修復工
ポリマーセメントモルタルにて断面修復を行う。
※使用材料は監督員に確認の上決定すること。
※一層あたりの施工厚さはモルタルの付着性、材料特性等を考慮して決定すること。
※ハワリ後に既設鉄筋が存在して腐蝕が確認された場合には、既設鉄筋をケレンして防錆材を塗布すること。

補修数量表-1 (カッター工)

補修箇所	施工延長
D1: 0.3+0.5	0.80m
D2: 0.2+0.4*2	1.00m
D3: 0.8+0.2	1.00m
D4: 1.3+0.2*2	1.70m
D5: 1.3+0.1*2	1.50m
カッター工延長 合計	L= 6.00m

※カッター工の施工深さは、t=10mmとする。

補修数量表-2 (断面修復工)

補修箇所	補修断面形状	補修断面積
D1	0.30*0.50	0.15m ²
D2	0.20*0.40	0.08m ²
D3	0.80*0.20	0.16m ²
D4	1.30*0.20	0.26m ²
D5	1.30*0.10	0.13m ²
断面修復工断面積 合計 A= 0.78m ²		

※断面修復の補修厚さは、t=50mmとする。

補修数量表-3 (断面修復用プライマー工)

補修箇所	補修断面積
表面 (補修数量表-2より)	0.78m2
側面 (補修数量表-1より) 6.00m*0.05m	0.30m2
断面修復用プライマー工面積 合計	A= 1.08m2

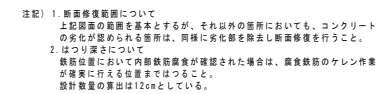
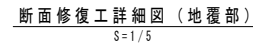
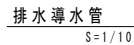
補修数量表-4 (根継工)

	補修形状	補修体積
コンクリート	(1.04+0.10)*1.50	1.71m3
型枠	(1.50*1.50)+(1.04+0.10+1.04)=4.43	4.50m2
床掘	CAD計測	1.20m3
埋戻 (発生土)	CAD計測	0.80m3
残土	1.20-0.80	0.40m3

当初設計図面

工事名	R8吉土 国道193号 (倉庫橋)
路線名等	西・美郷倉庫 橋梁補修工事
工事箇所	吉野川市美郷字倉庫
図面名	下部工補修計画図(2)
縮尺	図示 図面番号 5 / 6
会社名	
事業名	徳島県吉野川県土整備事務所

S = 1 : 30



補修箇所	補修断面形状	補修断面積	使用材料	施工方法
D1	0.10×0.20×0.12	0.002m ³	ポリマーセメント モルタル	左官工法
断面修復工体積 合計		A = 0.002m ³		

工事名	R8吉土 国道193号(倉羅橋) 美・美即意館 橋梁補修工事		
路線名等	一般国道193号(倉羅橋)		
工事箇所	吉野川市美郷字倉羅		
図面名	橋梁補修計画図		
縮尺	図示	図面番号	6 / 6
会社名			
事業者名	徳島県吉野川市農土整備事務所		